

のり海況速報 第8報 (25-8)

平成26年 1月24日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 1/20：内湾(ふさなみ)、1/21：内房北部(ふさなみ)
 関東・東海海況速報(1/15-24)、東京湾口海況図(1/15-24)
 自動観測ブイデータ(1/20-21)、拓南観測データ(1/21)
 モニタリングポスト(1/20：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1)は前回(1月7日)よりさらに1℃下がり、ほぼ8～10℃台になっています。塩分は30台後半～32台前半、平年よりやや高めになっています。
- ・また、調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(図2)では、水温・塩分とも表層から水深20m付近までほぼ同じです。
- ・内房北部の表層水温も降下し、10～11℃台になっています。
- ・金谷から久里浜を結ぶライン付近まで流入していた外洋水は弱まり、23日現在湾口部の水温は14℃台に止まっています。

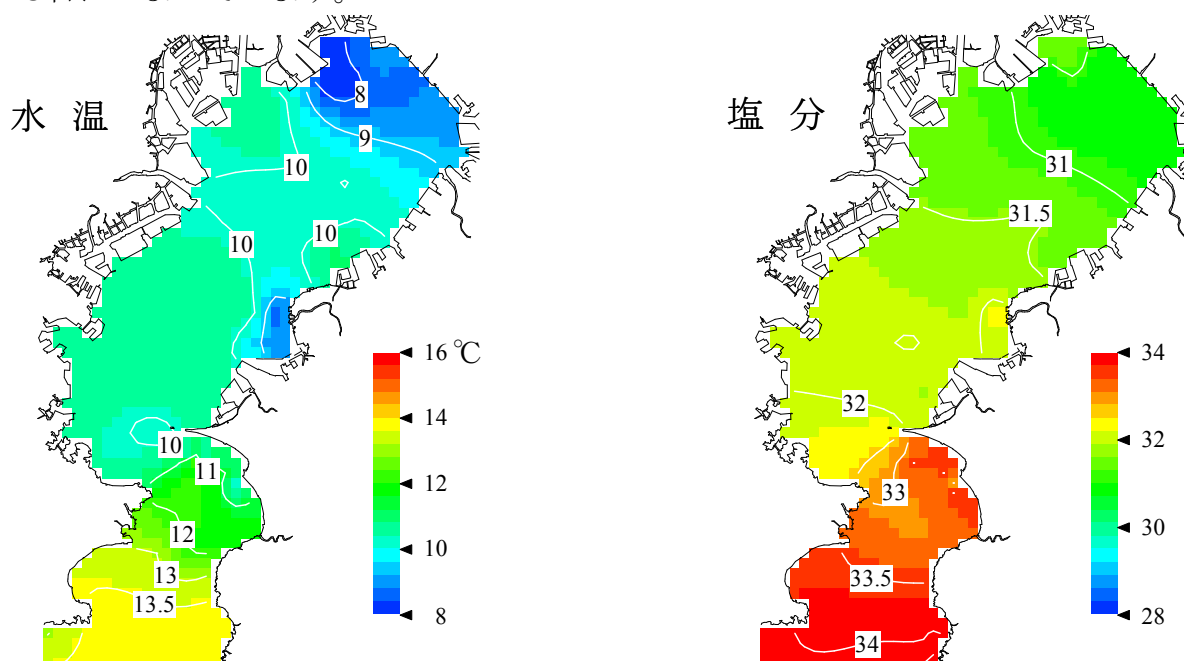


図1 表層の水温・塩分の分布(平成26年 1月20-21日)

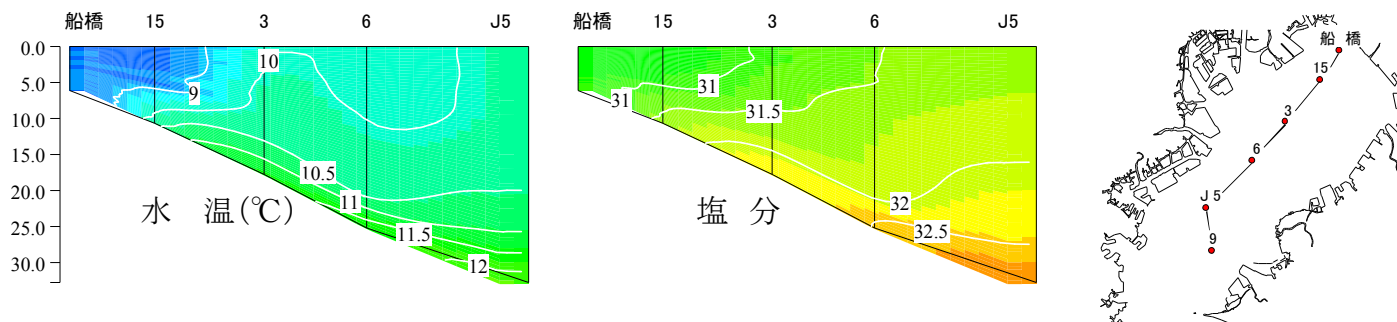


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成26年 1月20日)
 (上：内湾、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・透明度は3m前後まで回復してきていますが、依然、スケルトネマやキートケロスなどのケイ藻プランクトンが多く、アクアライン以北の千葉県側では水色が褐色を呈しているところがありました。また、ユーカンピアも出現し始めています。
- ・表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)は全域で十分ありますが、リン(DIP)が内湾で少なく、盤洲周辺ではノリの色落ち濃度を下回っていますので、引き続きこの動向に注意が必要です。

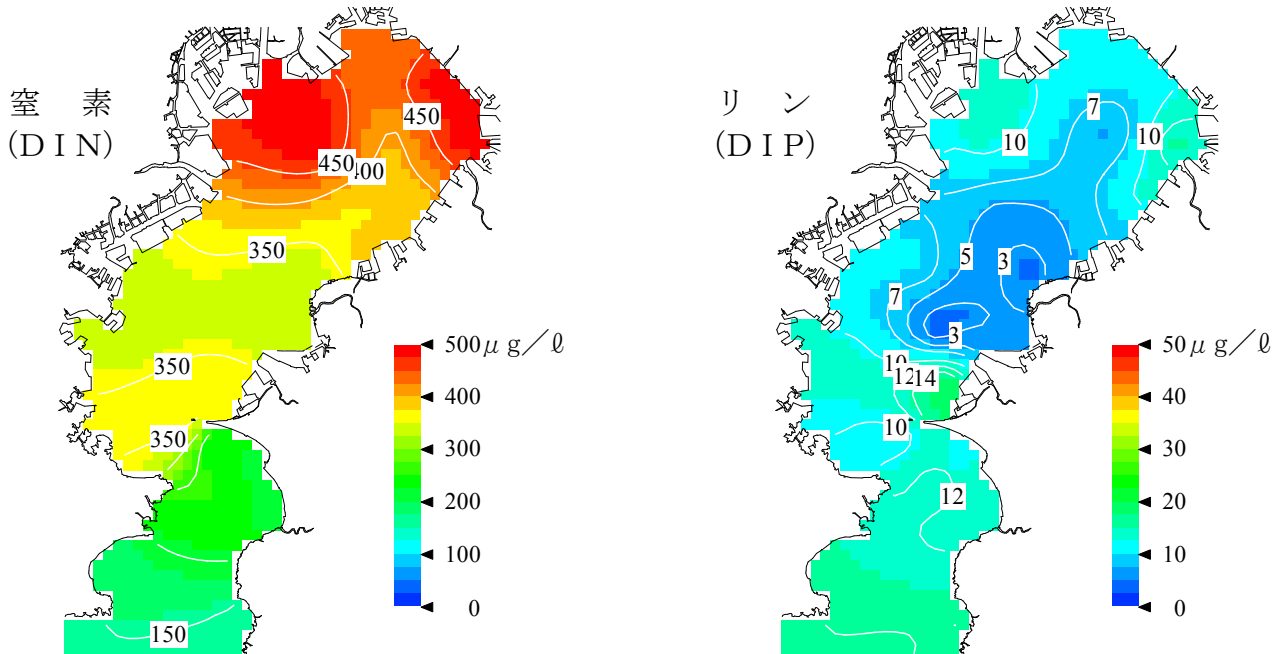


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成26年 1月20-21日)

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”ノリ養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbstuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbstuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html